



掛軸は飛鳥時代に、大陸より仏画を拝する仏具として日本に伝来、1,500年の長い年月をかけ、日本画の技術進歩や茶の湯文化の普及に伴い、独自の進化を遂げてきました。

熟練した表具師が選び抜いた掛軸用反物である裂地(きれじ)と水墨画が織りなす美の世界。他の絵画鑑賞法にはない高度な表装技術に裏付けされた高い保管性。

そんな掛軸が2018年、日本が世界に誇る新たなアートである『マンガ』と融合。全く新しいジャパニーズカルチャーとして生まれ変わったアート鑑賞形態です。



鉄腕アトム

品番 / CG265

原画担当

絵師

白道

はくどう

岐阜県在住

東京都美術館 秀彩展(特別受賞)

NYアートエキスポフェア 奨励賞受賞

水墨技法を自在に操り

アートにニューウェーブを起こし続ける

日本画アーティスト



原作者



1928年 大阪府に生まれる

1946年 毎日小学生新聞「マアチャンの日記帳」連載でデビュー

「鉄腕アトム」が日本初の連続テレビアニメになるなど、アニメーションの分野でも多大な功績を残す

1989年 60歳にて没



- ◆ 材 質
本紙 / 美術印刷用高級化繊
原画：白道(複製画)
裂地 / 京金欄織物・京友禅染・綿緞子
軸先 / 木製
- ◆ サ イ ズ
画寸 / 巾42cm × 丈297cm
軸先寸 / 巾57cm × 丈90cm
梱包外寸 / 8.5cm × 8.5cm × 60.5cm
- ◆ 収納形態
桐箱納め(シリアルナンバー箱書き入)
- ◆ 本体価格
40,000円(税別)
- ◆ 期間限定商品



※この商品は手塚プロダクションが監修した公認ライセンス商品です

© 手塚プロダクション